

## 学級通信「ありがとう・大きくなあれ」No.3 【これまでの家庭学習の答え】

国語

4月20日 新出漢字・意味調べ

**任す**・・・仕事などを他にゆだね、その自由にさせる。**角**・・・道の曲がり目の所  
**現れる**・・・今までなかったものがすがたを見せる。**実際**・・・想像や考えではなく、行うこと。  
**態度**・・・感じたり考えたりしたことが、言葉・表情・動作などに現れたもの。  
**飼う**・・・動物を養い、育てる。**似合う**・・・ちょうどよくつりあう。調和する。  
**不恰好**・・・外から見た事物の形が悪いこと。**心情**・・・人物が思ったり感じたりしていること。  
**表現**・・・心や感情などの見えないものを、見えるように表情、身ぶり、言葉などで表すこと。  
**想像**・・・実際には経験していないことをおしはかること。**印象**・・・強く感じ忘れられないこと。  
**人物像**・・・人物の性格や特徴のこと。**特徴**・・・他とくらべて特に目立つところ。  
**人間関係**・・・人と人との関係。特に心と心の関係。**理解**・・・正しく分かること

4月21日 登場人物の心情が表れている表現を見つけよう。 とらえよう

物語には、「<sup>かたりて</sup>**語り手**」がいます。語り手が、お話を語っていきます。「なまえつけてよ」の場合は、その語り手が、人物である「春花」に、かさなったり、よりそったりしながら語っていきます。そういう意味で、この物語の、**視点人物**は「春花」ということになります。だから、春花の心情は、直接書かれていたり、よくわかったりします。そして、その会話や行動にも表れます。



「春花」の会話や行動とその時の心情（主なものだけ）

### 会話や行動

・・・ 心情

#### 1日目

- P19L11 まるで知らない道を歩いているような気がしてくる。  
・・・子馬の名前をつけてほしいとたのまれるんで、夢みたい。うきうきしている。
- P20L1 頭の中に子馬のまぶしいすがたを思いえがきながら、帰り道を歩いた。  
・・・何て名前にしようかな。あの子馬に合うすてきな名前を考えなくっちゃ。
- P20L7 どうしたらいいか分からなかった。話しかけても、勇太はあまりしゃべらない。
- P20L9 親しくなるきっかけは、なかなかつかめなかった。  
・・・たのまれたけど、何を話したらいいかわからないし、前、話しかけても、あまり会話がはずまなかったから、どうやったら親しくなれるのかわからない。
- P20L10 「牧場に子馬がいるんだけど、気がついた。」春花はきいてみた。  
・・・ようし、思い切って話しかけよう。チャンスかも。
- P20L12～「あそこの牧場で子馬が生まれたんだよ。あたし、子馬の名前を考えてって、牧場のおばさんから、たのまれちゃった。」

・・・すごいでしょ。どんな名前つけようかな。

P21L4 「まだ言わないよ。明日の放課後、牧場のところに来て。そうしたら教えるから。」

・・・まだ決まってないよ。これから考えるんだよ。勇太らと仲良くなるチャンスかも。

P21L12 「なによ、その態度。」と言いつつになつたけれど、春花は言葉をぐっと飲みこんだ。

・・・なんなの、ちょっとくらい話に乗ってきてくれてもいいのに、なんか腹が立つ。けど、ここで、声に出して言ったらけんかになりかねないから、せっかく、親しくなるチャンスなのに。がまん、がまん。

P22L5 「こんにちは」春花は、あいさつをした。・・・あ、おばあさんだ。話しかけよう。

P22L13 「ねえ、おばあちゃん。ぽんすけは、どうして、ぽんすけなの。」子馬の名前のヒントにしようと思って、きいてみる。・・・どんな名前がいいかな。いい名前にしたいな。

P23L5 夜、ふとんにもぐりこんでからも、春花は一生けんめい考えた。あの子馬に似合う名前をつけたい。子馬の特徴を思いつくかべてみる。大きくなったら、風のように走る馬になってほしい。そんな願いがわいてくる。

・・・ぜったい、あの子馬にふさわしい誰もが認めてくれる名前をつけるぞ。

P23L10 考えているうちに、春花の心に、一つの名前がうかんできた。心の中で、子馬につけた名前をよんでみる。・・・ようし、これに決めた。これがいい。最高。

P23L11 安心してねむりに落ちた。・・・よかった。うれしい。いい名前だ。明日が楽しみだ。

## 2日目

P23L13 子馬をながめながら待った。もしかして、勇太は来ないかもしれないな。

・・・来るのかな、来ないのかな。来てくれたらいいのにな。こんなに素晴らしい名前を思いついたのにな。聞いてほしいよ。という2つの春花の心情が表されている。

P24L3 急ぐ陸の後ろから来るのは、勇太だ。・・・来た。うれしい。来てくれた。びっくり。

P24L8 「子馬の名前—」・・・さあ、発表するよ。みんな聞いてよ。ぴったりの名前だよ。

P24L13 だまされたまま、さくからつき出た子馬の花にさわってみた。**子馬の鼻は、ほんのりと温かく、しめっている。**・・・そんな、ひどいよ。せっかく名前考えたのに。つらいよ。悲しいよ。子馬とも別れるなんて。さびしいよ。

P26L2 「いいんですー。それなら、しかたないですね。」子馬の鼻にふれたまま、明るい声でそう答えた。・・・つらいよ。けど、どうしようもない。泣きたいよ。けど泣けない。名前今さら言えないよ。言ったらよけいに別れがつかなくなるし、泣いてしまう。

## 3日目

P26L6 ろう下で勇太とすれちがった。そのときだった。春花はそっと何かをわたされた。

・・・え、何、なに？何なの。

P26L8 春花ははっとした。紙で折った小さな馬。不格好だけれど、たしかに馬だ。ひっくり返してみると、ペんで何か書いてある。なまえつけてよ。らんぼうなくらいに元気のいい字が、おどっている。勇太って、こんなところがあるんだ。

・・・私が昨日のことで、落ち込んでいるのを気づかって、はげましてくれているんだ。やさしいな。うれしいよ。いいやつだな。けど、この字。らんぼうだな。元気だな。男の子だな。

P27L2 ボールを追いかけている勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。・・・ありがとう。うれしいよ。はげましてくれて。

## 勇太の会話や行動とそのときの心情

視点人物である春花の心情は、よくわかりますが、見られている側の対象人物「勇太」の心情は、わかりにくいです。それ故に、書かれていることから、想像しましょう。



### 1 日目

P20L8 あまりしゃべらない。目を合わせない。ただ、足元を見ている。・・・どうしていいのかわからない。はずかしい。

P21L2 勇太は顔をあげて、ちらっと春花の方を見た。でも、すぐに目をそらした。・・・どうしよう。いっしゅん目が合った。はずかしいな。

P21L8 「もう行こう。」勇太はふいっと向きを変えて、歩き出した。・・・苦手なんだよ。はずかしいんだよ。もう帰ろう。

### 2 日目

P24L4 勇太はきいた。「名前、なんてつけるんだ。」・・・はずかしいけど、おれも勇気を出してきたよ。子馬の名前なんてつけたのかな。春花と友だちになれるかな。

P26L3 勇太と陸は、何も言わない。二人とも困ったような顔をして、春花の方をじっと見ている。・・・どうしよう。かわいそうだな。昨日あんなにはり切っていたのに、なんて声をかけていいかわからない。困ったな。

### 3 日目

P26L7 わたすと、勇太は急いで行ってしまった。紙で折った小さな馬。なまえつけてよ。・・・はずかしいな。なんて言えばいいのかわからない。けど、これで、少しでも元気になるしてくれたらうれしいな。

まとめ・・・ 全部かけてなくてもいいですし、他のところから心情を想像していてもいいです。書いてあることから心情を想像するのが大切です。

人物の心情は、直接書かれている場合の他に、人物同士の会話や行動からも想像できるよ。



さらには、情景からも想像することができる。

例えば、

P24L1 <なめらかなたてがみ。真っ黒な目。時間がいつもよりゆっくりと流れていく。>

P24L4 <風がさあっとふきぬけた。子馬はぴくぴくと耳を動かした。>

など

このことに関しては、学校に来てから授業でじっくりとやるので、この表現の中に、春花のどんな心情が含まれているか、よく考えておいてね。

4月22日 二人の心情の変化について考えよう。 ふかめよう①

・「春花」の「勇太」に対する心情は、どのような出来事によって、どう変化しているだろう。  
昨日やったことをまとめると

1日目

出来事・・・子馬の名前をつけてとたのまれる出来事

〔春花〕・・・話しかけはするが、親しくなるきっかけがつかめずにもどかしい。

2日目

出来事・・・子馬の名前をつけられなくなる出来事

〔春花〕・・・勇太が来てくれてうれしかったが、子馬に名前をつけられなくて、残念に思うが、明るくけなげにふるまう。複雑な思い。

3日目

出来事・・・勇太が春花に〈なまえつけてよ〉と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたす。

〔春花〕・・・〈こんなところがあるんだ〉と勇太のやさしさに気付き、うれしい。



このように見てくると、「春花」の心情の変化は、子馬の名前がつけられなかった出来事をきっかけに、〈なまえつけてよ〉と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたされたことによって、大きく変化していることがわかるね。

つぎに、

・「勇太」の「春花」に対する心情の変化は、直接えがかれていない。「勇太」の行動から考えよう。

1日目

出来事・・・子馬の名前をつけてとたのまれる出来事

〔勇太〕・・・春花と関わろうとする様子が見えない。むしろ、よそよそしい。

2日目

出来事・・・子馬の名前をつけられなくなる出来事

〔勇太〕・・・春花に声をかけられず、困ったような表情で見守る。どうしていいかわからない。

3日目

出来事・・・勇太が春花に〈なまえつけてよ〉と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたす。

〔勇太〕・・・落ち込んでいるであろう春花を思いやっつての、せいっぱいの行動。



こちらにも、「勇太」の心情は、子馬の名前がつけられなかった出来事をきっかけに、なんとかしてはげまそうと考え、〈なまえつけてよ〉と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたしたように大きく変化していることがわかるね。

## 4月23日 二人の関わりの変化について考えよう。 ふかめよう②

- ・三日間で、「春花」と「勇太」の関係はどのように変わっていったらうか。  
昨日やった二人の心情の変化から考えると



一日目は、「春花」と「勇太」の関係は、「春花」は、話しかけるが、親しくなるきっかけがつかめずに、イライラしていたし、「勇太」は、関わろうとしていなかったから、あまりうまくいってなかった。けど、二日目の〈子馬に名前がつけられなかった〉出来事を通じ、「勇太」が、「春花」のことを、はげまそうと考えた。そして、三日目に、〈なまえつけてよ〉と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたしたことによって、「春花」は、「勇太」に〈ありがとう〉と感謝の気持ちをいさくようになった。このように、三日間を通して、二人の関係が、おたがいのことを考えたり、理解し合うようになってきた。

### まとめ

登場人物のどうしの関わりは、次のようにしてとらえることができる。

- ①登場人物の会話や行動をたしかめて、人物像や心情を想像する。(4月21日)
- ②それぞれの場面の、たがいに対する心情を想像する。(4月22日)
- ③たがいに対する心情が変化すると、人物どうしの関わりも変化する。そのきっかけとなった出来事に着目し、関係がどうか変わったかについて考える。(4月23日)

- ・この物語の題名は、二人の関わりの変化とどのように結び付いているのだろうか。物語の最初と最後では、題名から受ける印象はどうちがうだろうか。

物語の最初では、牧場のおばさんが言った「そうだ、名前、つけてよ。」という会話からこの物語が始まっている。それと「名前」が漢字で表されている。

物語の後半では、「勇太」が書いた「なまえつけてよ」と書いた〈紙で折った小さな馬〉をわたしたことによって、「春花」の「勇太」に対する心情や二人の関係を大きく変えることになった。そして、題名と同じ、ひらがなで表されている。そのことから考えると、題名は二人の関係の変化に大きく結び付いている。



### まとめ

この『なまえをつけてよ』という題名は、物語と大いに関係があるというか、重要なアイテムになっている。4年生で習った、『白いぼうし』や『プラタナスの木』も同様である。このように、物語の題名と作品を関係付けて考えるのもおもしろいね。

題名の2つのパターン

- ①人物そのものの名前に関係があるもの。・・・『ごんぎつね』
- ②物語の出来事や主題に関係があるもの。・・・『なまえをつけてよ』

そこでもう少し考えてみよう「勇太」はどのようにして、「春花」に〈なまえつけてよ〉と書いたのかな？さらに、どんな名前がいいか。なぜ、その名前がいいのか？考えてみてね。そして、授業でみんなでお話し合おう。

4月24日 この先、「春花」と「勇太」はどう関わっていくだろう。二人の人物像を

もとに考えてみよう。 ふかめよう③

『春花』の人物像・・・よくあいさつをする<sup>れいぎ</sup>礼儀正しい子。・・・おばさんに対して。

何事に対しても一生懸命にやろうとする子。・・・子馬の名前を考える。  
いやなことがあっても、がまんすることができる子。

・・・言葉をぐっと飲みこんだ。それなら、しかたがないですね。

明るい声で

ありがとうと素直に感謝ができる子。

・・・心の中でつぶやいた。

『勇太』の人物像・・・はずかしがりやでしゃべるのが苦手な子。・・・あまりしゃべらない。

目を合わせない。ただ足元を見ている。すぐに目をそらした。ふいっと向きを変えて。

考えに考えてしゃべる子。・・・次の日に、勇太はきいた。「名前、なんてつけるんだ。」

はずかしいけど、考えに考えて行動する子。・・・急いで行ってしまった。

元気でスポーツが得意な子。・・・らんぼうなくらいに元気のいい字が、おどっている。

こんな二人は、これからどのように関わっていくだろうね。いろいろな続きの話が考えられるね。「勇太」の基本的に不器用で、はずかしがりやな所から急に積極的になるのはおかしいから、基本的にはこのままではないかな。

けど、何かをきっかけに、またまた急接近するかな。例えば、運動会の係が同じになるとかね。おうえん団とか、いいね。「春花」は、話し合いやアイデアでみんなを引っ張って、それを「勇太」がだまって実行するみたいなね。

すてきな続き話を作ってね。そして、それは、みんなにも当てはまる。今コロナで学校に来ることができないけど、学校に来たら、みんなで、「明るい・楽しい・おもしろい学級・学年・学校」になるようにしようね。

4月27日 「ふかめよう」で考えたことを中心に、物語を読んだ感想をまとめよう。

ここでは、二人の関わりや、関わりの変化について考えた事や思ったことが理由を付けて書いていたらいいです。もし自分ならとか、わたしも似た経験がとか、具体的に書かれていたらなおいいですよ。

学校にきたらみんな感想を伝え合いましょう。